

長岡市入札公告第82号

一般競争入札の実施について（公告）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条第1項及び長岡市財務規則（平成3年長岡市規則第15号）第129条第1項の規定により一般競争入札を実施するので、次のとおり公告します。

平成30年7月19日

長岡市長 磯 田 達 伸

1 個別事項

調 達 案 件 番 号	1 0 1 1 5 0 5
工 事 番 号	地建単浸水和第1号
工 事 場 所	長岡市城之丘 地内
工 事 名	排水路整備工事
工 事 期 間	平成31年3月29日 まで
工 事 概 要	長岡市ホームページ内の平成30年度公告一覧のページ (http://www.e-bidpub.city.nagaoka.niigata.jp/e-bidpage2-1.html) 内の当該工事の設計図書欄に掲載しています。
入 札 方 式	制限付き一般競争入札・簡易（提案）型総合評価方式
発 注 業 種	土木一式
入 札 区 分	電子入札
予 定 価 格	事後公表とします。
最 低 制 限 価 格	設けません。
低 入 札 調 査 基 準 価 格	設けます。（予定価格に100分の70を乗じて得た金額）
工事費内訳書の提出	あり（指定様式で提出してください。再入札時は不要です。）
入 札 保 証 金	免除します。
契 約 保 証 金	長岡市財務規則第132条及び第132条の2の規定によります。
前 金 払	あり
部 分 払	あり
単体・特定共同企業体	単体
入札参加資格要件（次の○を付したものとなります。）	
○ 電 子 入 札	本件入札の入札参加申請書及び入札書の提出等については、長岡市電子入札契約システム（以下「システム」という。）を使用して行わなければなりません。 ただし、システムを使用せずに紙による参加を認める場合の承諾基準は、長岡市電子入札運用基準（平成18年長岡市公告第46号）第2項の規定によります。 なお、システムを使用せず紙による参加を希望する者については、「一般競争入札参加申請書」を提出する前に、「紙入札参加承諾申請書」を財務部契約検査課工事契約係まで持参して紙による参加の承諾を得てください。

○	指 名 停 止 措 置	本件工事に係る公告の日から本件工事に係る開札日までの期間に、長岡市建設工事請負業者指名停止等措置要綱（平成6年長岡市告示第126号）に基づく指名停止措置を受けていない者であることとします。			
○	地 域 要 件	本件工事に係る公告の日において、長岡市内の本社が入札参加資格者名簿に登載されている者であること。			
○	登 録 業 種 及 び 総 合 評 点 等	平成30年度の入札参加資格者名簿に登載されている項目が次の項目に該当する者であること。			
		1 登録業種	土木一式		
		2 総合評点	800	点以上	点未満
		3 建設業許可	建設業許可		
	施 工 実 績 等				
	工 事 成 績				
○	配 置 技 術 者 の 要 件（3箇月 以上の雇用関係 が必要です。）	次の○を付した技術者を配置できる者であること。			
		○	本件工事を施工し得る国家資格等を有する監理技術者を専任で配置できる者		
		○	本件工事を施工し得る国家資格等を有する主任技術者を専任で配置できる者（実務経験により主任技術者となる場合にあっては、実務経験を確認できる任意の経歴書を作成すること。）		
		○	本件工事を施工し得る国家資格等を有する主任技術者を配置できる者（実務経験により主任技術者となる場合にあっては、実務経験を確認できる任意の経歴書を作成すること。）		
		※入札の結果、契約金額によっては、監理技術者の配置及び主任技術者の専任配置が不要となる場合があります。			
○	現 場 代 理 人 の 要 件（3箇月 以上の雇用関係 が必要です。）	本件工事の発注業種において現場での実務経験のある者を配置できる者（監理技術者又は主任技術者と現場代理人とは、兼務させることができます。）であること。			
	配 置 技 術 者 の そ の 他 の 要 件				
	そ の 他				
技術資料の提出方法		入札参加を希望する者は、価格以外の項目を評価するために必要な資料を次のとおり提出してください。			
	提 出 す る 資 料	1 技術評価点自己評価表 2 企業の技術力・地域貢献度確認資料（第1号様式） 3 配置予定技術者の能力確認資料（第2号様式） 4 簡易な施工計画書（第3号様式） 5 技術資料等の提出について（第5号様式） ※ 2及び3の資料は、それぞれの様式の注釈に沿って作成すること。なお、提出した技術資料の変更は、認めません。また、技術資料の提出時には、技術資料を証明する書類の添付は不要とします。			

第 3 号 様 式 で 求 め る 所 見	1 冬期間（降雪期）の施工におけるコンクリート、地盤改良及び盛土・埋戻しの品質確保について 2 非出水期（10月から）の施工を考慮した工程管理について（仮設道路工事は、出水期の施工可能）
第 4 号 様 式 で 求 め る 提 案	なし
企業の技術力及び配置予定技術者の能力で加算する同種工事の実績	国、都道府県又は市町村が発注した過去15年度の排水路整備工事（排水樋門）の施工を完了した実績の有無
提 出 方 法	システムを使用して、本件入札の入札参加申請書に添付して提出してください。 ただし、システムを使用せずに紙による参加を認められた場合は、紙により提出してください。
入 札 の 失 格	提出された技術資料が白紙である場合、記載事項が欠けている場合 その他不備がある場合は、その入札参加者の入札は、無効とします。
総合評価点数算定基準に関する事項	本件工事に係る総合評価は、長岡市建設工事の入札に係る総合評価方式試行要領の総合評価点数算定基準（平成19年長岡市公告第166号）に基づき、次のとおりとします。
総 合 評 価 点 の 算 定 方 法	総合評価点は、入札書が無効でない者及び予定価格の制限の範囲内で入札した者について、次の算定式により算定します。 総合評価点＝価格評価点＋技術評価点 なお、入札価格が予定価格を超える場合は、失格とします。ただし、全者が予定価格を超える場合は、失格とせず、再入札を行います。
総合評価点の配点	本件工事における価格評価点及び技術評価点の配点は、次のとおりです。 1 価格評価点 70点 2 技術評価点 30点
価 格 評 価 点 の 算 定 方 法	価格評価点は、次の算定式により算定します。 価格評価点＝配点×最低価格／入札価格 （小数点以下第3位を四捨五入します。）
技 術 評 価 点 の 算 定 方 法	技術評価点は、入札参加者が提出した技術資料により、別表に掲げる評価項目及び評価基準に基づいて算定した評価点の合計とします。
配 置 予 定 技 術 者 に 関 する 事 項	1 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、資格等の要件を満たす複数の予定技術者を記入することができます。 この場合は、最も得点の低い者の得点をもってその得点とします。 2 実際の施工に当たって技術資料に記載した配置予定技術者を変更できるのは、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合に限りです。特別な理由によりやむを得ず配置予定技術者を変更する場合は、当初の配置予定技術者と同等以上の者を配置しなければなりません。
質 問 締 切 日 時	平成30年7月30日 （月） 正午
質 問 回 答 締 切 日 時	平成30年8月6日 （月） 正午

入札参加申請書 及び技術資料 締切日	平成30年8月7日 (火) 午後4時 ただし、特段の事情により、システムを使用せず紙による申請をする者については、「一般競争入札参加申請書」を同日正午までに財務部契約検査課工事契約係まで持参してください。 入札参加申請書を提出した者に対し、原則としてシステムにより入札参加申請の結果を通知します。
入札締切日時	平成30年8月30日 (木) 午後4時
開札日時	平成30年8月31日 (金) 午前9時
低入札価格調査期間 (必要に応じ実施)	平成30年8月31日(金)から概ね2週間 ※「長岡市建設工事低入札価格調査取扱試行要領」に基づき、実施します。
入札参加資格確認 審査書類及び技術 資料を証明する 書類の提出期限	落札候補者決定日の翌日正午
落札決定予定日	入札参加資格確認審査書類及び技術資料を証明する書類の提出日の翌日 ただし、低入札価格調査を実施する場合は、調査終了後とします。
図面の配布	
次の○を付した会社（事前に電話による申込みをしていただき、宅配又は配布場所において有償で配布します。）又は長岡市ホームページによります。	
	〒940-0087 新潟県長岡市千手3丁目8番18号 有限会社今萬マイクロコピーセンター 電話0258-32-1112
○	平成30年度公告一覧のページ内に掲載します。
図面の配布期間	有償配布の場合にあつては、入札書締切日時まで
入札参加資格確認審査書類	
開札の時点では、落札決定を保留して、共通事項2(4)ウの規定により落札候補者を決定します。 落札候補者となった者から、次の○を付した書類を1部持参により提出を求め、入札参加資格の審査を行います。このため、入札参加申請者は、開札日までに入札参加資格確認審査書類を準備してください。 ※申請書類等については、平成30年度公告一覧のページ内からダウンロードした様式を使用してください。	
○	入札参加資格確認審査申請書
	施工（受注）実績報告書
○	最新の経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の写し
○	配置予定技術者工事経歴書
○	工事費内訳書
○	技術資料を証明する書類 (企業の技術力・地域貢献度確認資料（第1号様式）及び配置予定技術者の能力確認資料（第2号様式）のそれぞれの様式の注釈に沿って提出すること。)
特記事項（次の○を付したものが本工事の特記事項となります。）	
	請負代金支払の特約 前払金は、支払限度額が200万円以上の年度を対象とし、各年度における支払限度額の40パーセント以内とします。 なお、平成 年度の前払金の請求時期は、平成 年4月1日以降とします。

	<p>請負代金支払の特約 本件工事は か年の継続工事であり、各年度の支払割合は次のとおりとします。</p> <p>平成 年度 請負代金のおおむね パーセント</p> <p>平成 年度 請負代金のおおむね パーセント</p>
	<p>仮契約 契約締結について議会の議決を要するため、長岡市財務規則第 1 3 3 条第 1 項の規定により仮契約を締結します。</p>

2 共通事項

(1) 入札書の提出方法

入札書は、システムを使用して提出してください。なお、紙による参加を認められた者については、開札日時に開札場所へ持参してください。

(2) 開札場所

長岡市大手通 2 丁目 6 番地 フェニックス大手イースト
長岡市役所大手通庁舎 8 階入札室

(3) 設計図書その他入札に関する質問及び回答

ア 質問方法

質問事項を契約検査課の電子メール (keiyaku@city.nagaoka.lg.jp) まで送信した後に財務部契約検査課工事契約係 (0258-39-2210 直通) まで連絡してください。※電子メールの件名に工事番号及び業者名を記載してください。

なお、上記メールアドレス以外に送付された質問書については、受信ができません。

また、様式については、平成 30 年度公告一覧のページ内からダウンロードした様式を使用してください。

イ 回答

質問に対する回答は、準備ができしだい、平成 30 年度公告一覧のページ内に掲載します。

(4) 入札の手続等の注意点

ア 入札金額の記載

落札に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 8 に相当する額を加算した金額 (その額に 1 円未満の端数があるときは、当該端数金額を切り捨てた額) をもって契約金額とするので、入札参加申請者は、契約希望額の 108 分の 100 に相当する額を入札書に記載してください。

イ 無効入札

(ア) 入札に参加する者に必要な資格のない者の入札及び入札に関する条件に違反した入札は、無効とします。

(イ) 工事費内訳書を提出しない者の入札は、無効とします。

(ウ) 入札書の金額と工事費内訳書の金額とが同一 (端数が生じた場合についての端数処理は、1 万円未満までとします。) ではなく、明らかに相違がある場合は、無効とします。

(エ) 工事費の内訳の金額に未記入 (0 円など) の項目がある場合は、入札を無効とします。

ウ 落札者の決定

a 本件入札が無効な場合は、予定価格の制限の範囲内の価格で入札した者のうち、

総合評価点の最も高い者を落札候補者として入札参加資格の審査及び技術評価点の審査を行います。この場合において、総合評価点の最も高い者が 2 人以上あるときは、くじにより落札候補者を決定します。

なお、落札候補者の入札価格が調査基準価格未満の場合は、低入札価格調査を行います。

また、入札参加資格の審査の結果、落札候補者が入札参加資格を有していない場合は、総合評価点の次順位者を新たな落札候補者として審査し、落札候補者が入札参加資格を有していることを確認できるまで順次実施します。

- b 入札参加資格の審査の結果、落札候補者が入札参加資格を有している場合は、技術資料及び技術資料を証明する書類等により、落札候補者の技術評価点の審査を行います。

落札候補者から申告のあった技術評価の自己評価点について誤りがない場合は、落札候補者の変更は生じないため、当該落札候補者を落札者として決定するとともに、速やかに入札結果を公表します。また、落札候補者から申告のあった自己評価点の過少申告が判明した場合も、落札候補者に変更は生じないため、落札候補者の技術評価点の修正は行わないこととします。

これに対し、落札候補者から申告のあった自己評価点が過大となる相違が判明した場合は、落札候補者の技術評価点を減点修正するものとします。

落札候補者の技術評価点の減点修正を行った後においても、総合評価点の次順位者より総合評価点が高い場合は、落札候補者に変更は生じないため、当該落札候補者を落札者として決定します。ただし、減点修正後に総合評価点の次順位者だった者と総合評価点が等しくなる場合は、くじにより落札候補者を改めて決定し直すものとし、総合評価点の次順位者だった者より総合評価点が低くなる場合は、落札候補者を総合評価点の次順位者だった者に変更するものとします。この場合においては、新たに落札候補者になった者について、入札参加資格の審査及び技術評価点の審査を行います。

以上の手続を落札候補者を落札者として決定するまで繰り返し行うこととします。

(5) 技術資料に記載された施工計画が履行できなかった場合等の措置

長岡市建設工事の入札に係る総合評価方式試行要領の総合評価点算定基準第9項の規定により、工事成績評定点を次の算定式により減点します。

$$\text{減点値} = 8 \text{ 点} \times (\alpha - \beta) / \alpha$$

(小数点以下第1位を四捨五入し、整数止めとします。)

α : 当初の技術評価点 (点)

β : 達成度合いに応じて再計算した技術評価点 (点)

なお、当初想定した条件以外の事象が生じ、事前に提出し、適正とされた「施工上の課題」の内容に基づく施工ができなくなった場合の取扱いについては、双方協議の上決定するものとします。

(6) 技術資料の取扱い

ア 技術資料の作成に要する費用は、入札参加者の負担とします。

イ 提出された技術資料は返却しないものとし、当該技術資料は入札参加者の評価項目の審査の目的以外の目的に利用しないものとします。ただし、技術資料を提出した者が当該目的以外の利用について承諾したときは、この限りではありません。

ウ 入札参加者から提出された技術資料は、公表しないものとします。

(7) 入札参加資格確認審査書類等の取扱い

ア 入札参加資格確認審査書類等の作成に要する費用は、提出者の負担とします。

イ 提出された入札参加資格確認審査書類等は、入札参加資格審査以外の目的に使用しません。

ウ 提出された入札参加資格確認審査書類等は、返還しません。

(8) その他

ア この公告に定めるもののほか、本件工事の入札の実施については、長岡市財務規則等の関連する法令、規則及び通知の定めるところによります。

イ 不明な点については、財務部契約検査課工事契約係 (0258-39-2210直通) に照会してください。

別表

簡易(提案)型総合評価表

評価項目		評価内容	評価基準	配点	評点
企業の技術力	同種工事の実績	過去15年度の排水路整備工事(排水樋門)の施工を完了した実績の有無 (国、都道府県又は市町村発注工事)	国、新潟県又は長岡市が発注した同種工事の元請実績あり(長岡市合併前の市町村が発注した工事を含む。)	3.00	/3
			上記以外の自治体が発注した同種工事の元請実績あり	1.00	
			実績なし	0	
	工事成績	長岡市における過去3年度の当該発注業種の工事成績評定点の平均点 (当年度の成績は含めない。)	80点以上	8.00	/8
			75点以上80点未満 評点=(平均点-72)	3~7.9	
			実績なし	0	
			69点以上75点未満 評点=0.5×(平均点-75)	-0.05~ -3.00	
			69点未満	-3.00	
配置予定技術者の能力	技術者の雇用年数	主任技術者の雇用年数(公告日現在)	現所属企業に3年以上連続雇用	2.00	/2
			現所属企業への連続雇用が2年以上3年未満	1.00	
			現所属企業への連続雇用が2年未満	0.00	
	同種工事の実績	過去15年度の排水路整備工事(排水樋門)の施工を完了した実績の有無 (国、都道府県又は市町村発注工事)	国、新潟県又は長岡市が発注した同種工事で現場代理人又は主任(監理)技術者としての元請実績あり(長岡市合併前の市町村が発注した工事を含む。)	2.00	/2
			上記以外の自治体が発注した同種工事で現場代理人又は主任(監理)技術者としての元請実績あり	1.00	
			実績なし	0	
地域貢献度	地域での実績(緊急的な維持管理)	過去5年度の市内での緊急的な維持管理の受注実績(指示書又は単価契約)の有無(国、新潟県又は長岡市発注工事及び委託)	長岡地域での実績あり	1.00	/1
			長岡地域以外での実績あり	0.50	
			実績なし	0	
	地域での実績(防災協定)	技術資料等の提出期限日現在で有効な市内での国、新潟県又は長岡市の防災協定の締結の有無	実績あり	1.00	/1
			実績なし	0	

	男女共同参画の推進	技術資料等の提出期限日現在で女性技術者(主任技術者となる資格を有する者)の雇用の有無	実績あり	1.00	/1
			実績なし	0	
簡易な施工計画	施工上の課題に係る技術的所見	発注者が指定した「施工上の課題」への対応的確性 (複数の課題を設定した場合においても、評点の合計は、最高12点とする。また、施工上不的確な提案内容については、評価及び実施の対象としない。)	課題を十分理解している。	2.00	/6
			課題を理解している。	1.00	
			課題の理解が不十分である。	0	
			課題に対する解決策に特に効果がある。	2.00	
			課題に対する解決策に効果がある。	1.00	
			課題に対する解決策に効果がない。	0	
			解決策に独自の工夫が多く認められる。	2.00	
			解決策に独自の工夫が認められる。	1.00	
			解決策に独自の工夫が認められない。	0	
		【施工上の課題】 1 冬期間(降雪期)の施工におけるコンクリート、地盤改良及び盛土・埋戻しの品質確保について	課題を十分理解している。	2.00	/6
			課題を理解している。	1.00	
			課題の理解が不十分である。	0	
			課題に対する解決策に特に効果がある。	2.00	
			課題に対する解決策に効果がある。	1.00	
			課題に対する解決策に効果がない。	0	
			解決策に独自の工夫が多く認められる。	2.00	
			解決策に独自の工夫が認められる。	1.00	
			解決策に独自の工夫が認められない。	0	
【施工上の課題】 2 非出水期(10月から)の施工を考慮した工程管理について(仮設道路工事は、出水期の施工可能)	課題を十分理解している。	2.00	/6		
	課題を理解している。	1.00			
	課題の理解が不十分である。	0			
	課題に対する解決策に特に効果がある。	2.00			
	課題に対する解決策に効果がある。	1.00			
	課題に対する解決策に効果がない。	0			
	解決策に独自の工夫が多く認められる。	2.00			
	解決策に独自の工夫が認められる。	1.00			
	解決策に独自の工夫が認められない。	0			
技術評価点					/30

注1：評価の対象とする工事及び委託には、当年度(公告日前日まで)に完了した実績も含める。

注2：地域での実績(緊急的な維持管理)で定義する地域とは、平成17年4月1日以後の市町村合併における当該合併前の市町村の区域をいう。

注3：地域での実績(緊急的な維持管理)で定義する受注実績とは、実際に工事又は業務を行ったものに限る。